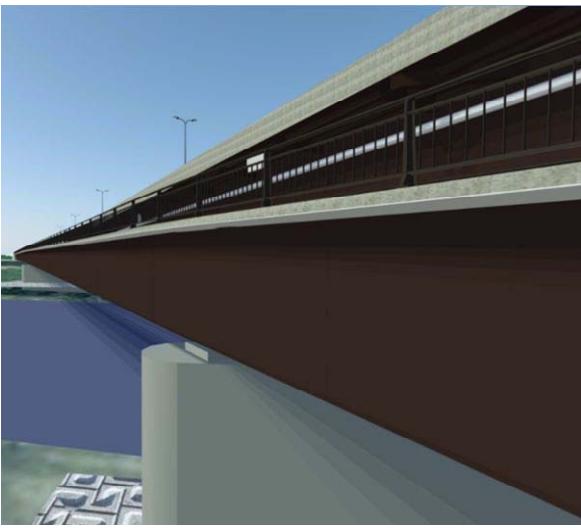


橋の色彩

耐候性鋼材(5YR2/1)



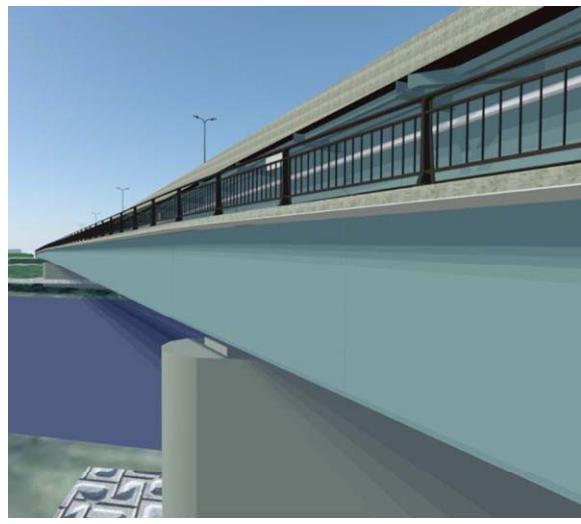
中彩茶系(5YR5/3)



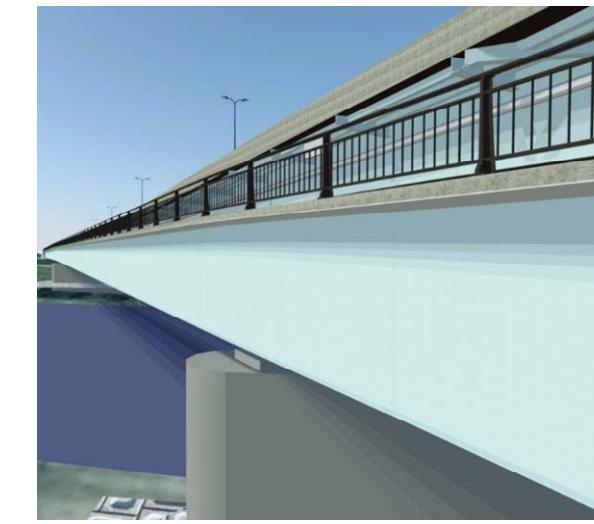
淡彩茶系(5Y9/1)



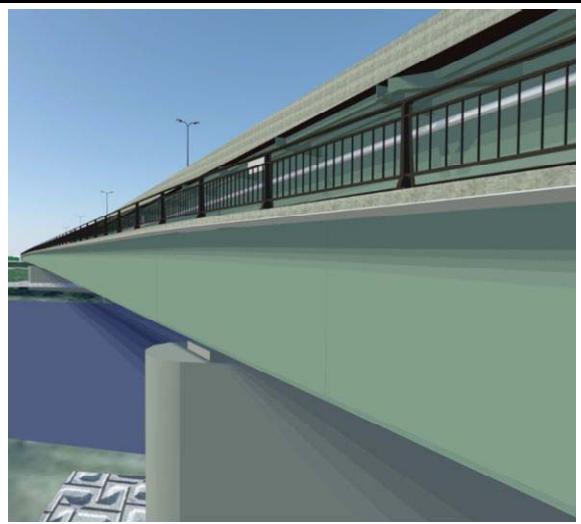
中彩青系(5B5/2)



淡彩青系(5B9/1)



中彩緑系(5G5/2)



淡彩緑系(5G9/1)



耐候性鋼材に加えて、河川や堤防との調和に配慮して緑、青系を抽出

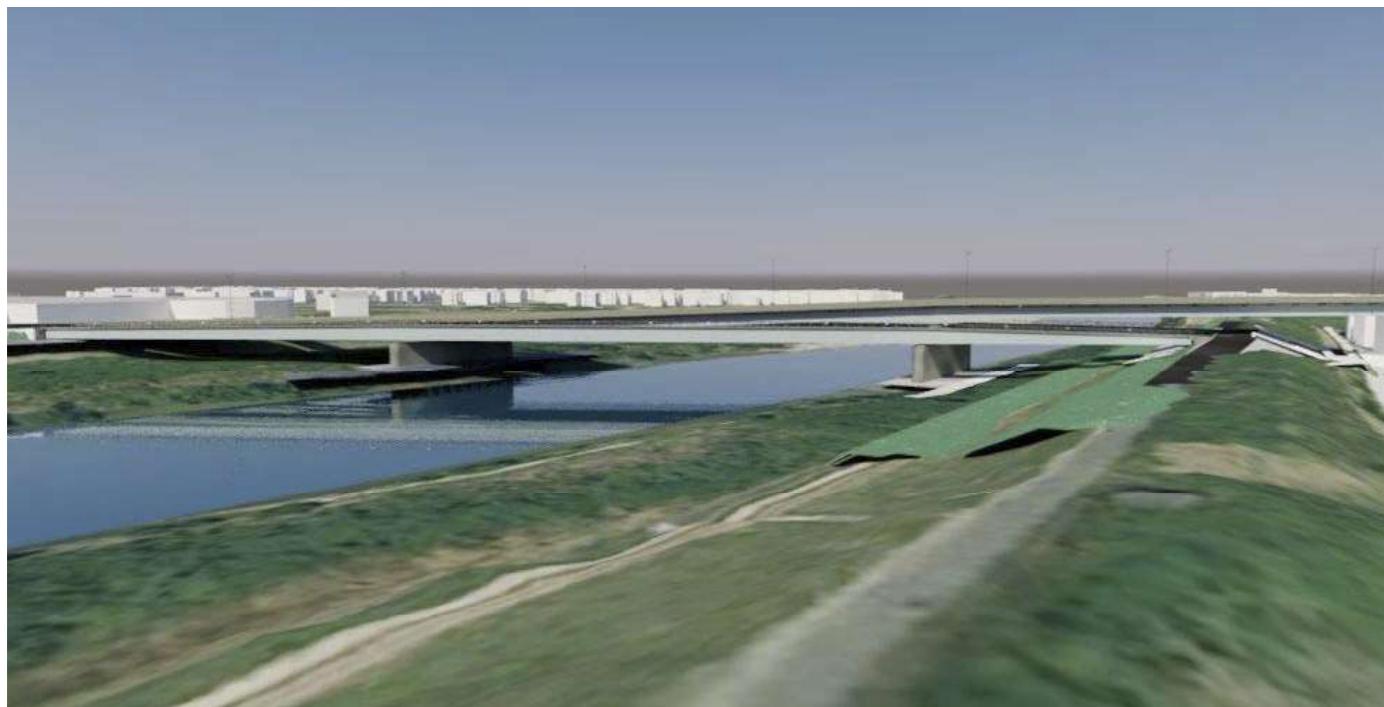
⑫, ⑬ 枝の色彩検討（生駒山や河川の緑、土色、夕日との調和を意識）

耐候性鋼材

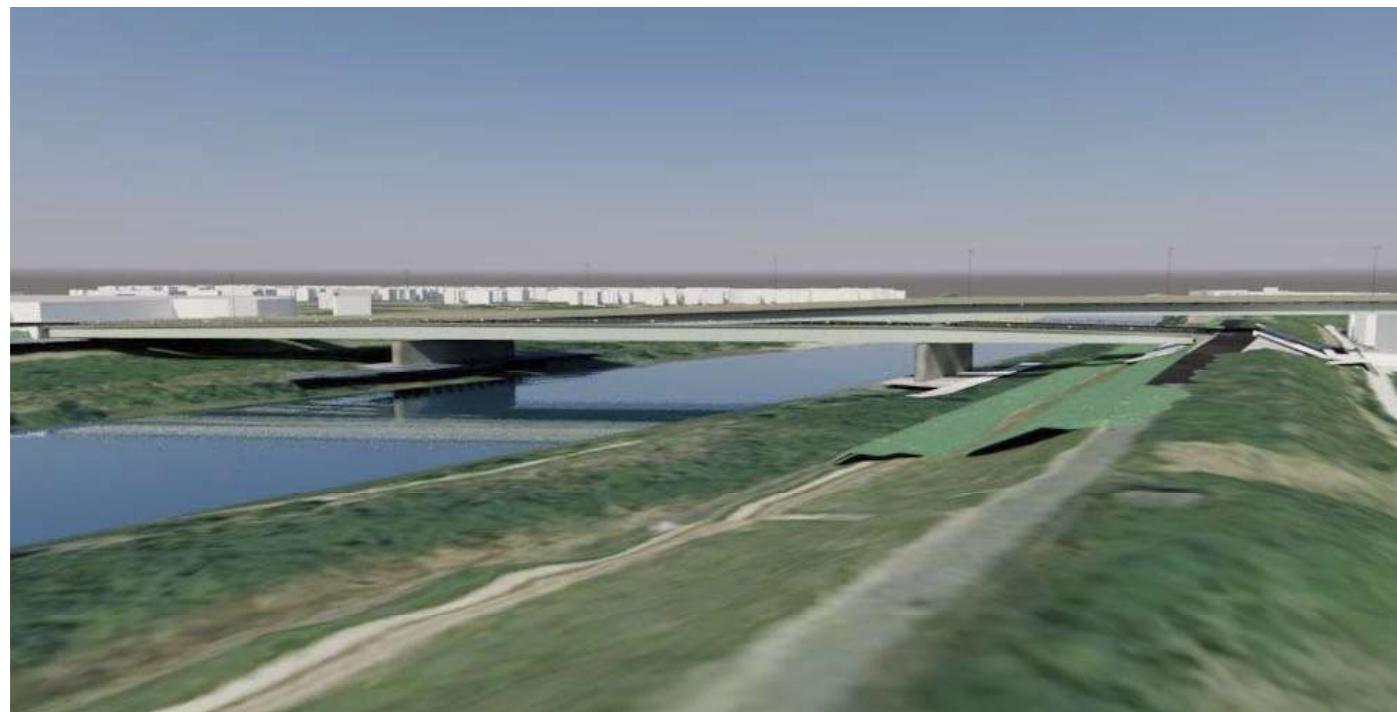


周囲との調和が図れており、落ち着きのある耐候性鋼材（茶系統）を採用
・緑色と同様に人間の気持ちを落ち着かせる
・緑やコンクリートの色と調和
・構造物の安定感をかもし出す
・（保色性に優れる）

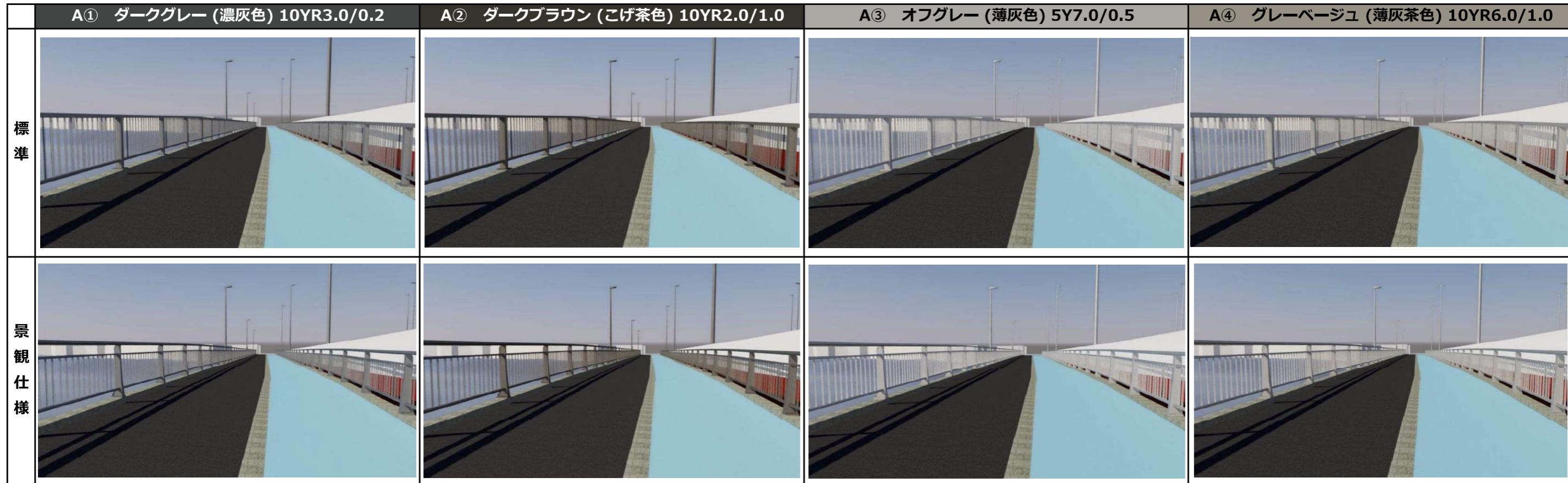
青系



緑系



◆大和川_景観検討_歩行者自転車用柵 色彩



○標準タイプ



○景観仕様

圧迫感が低減される丸みのある構造を採用



ダークグレー



ダークブラウン



オフグレー



グレーベージュ



ダークグレー



ダークブラウン



オフグレー



グレーベージュ



⑯ 自転車道の着色を検討

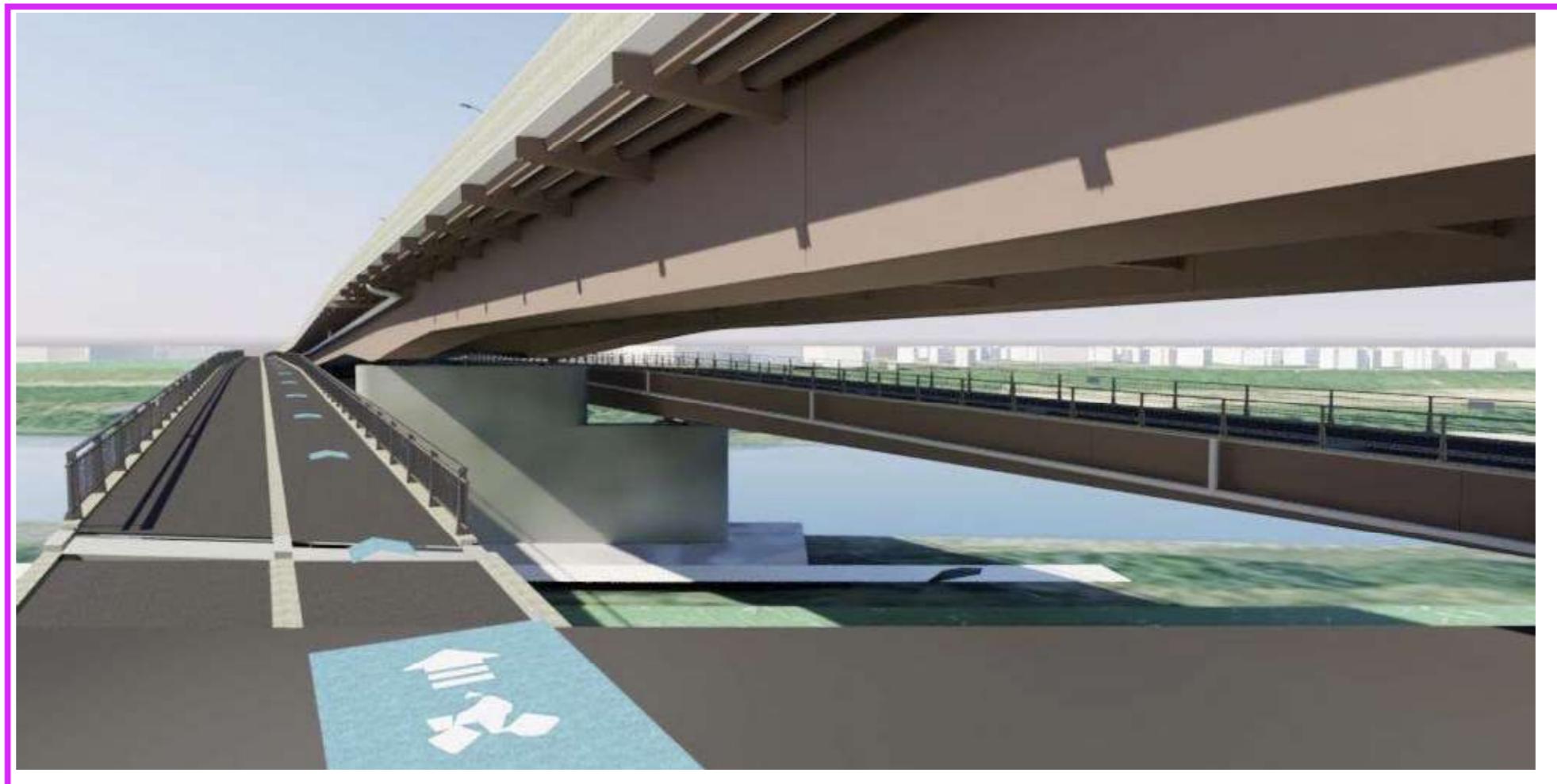
自転車道の着色(全体着色)



歩道橋の着色(一部着色)



目立たないように安全上必要な最低限の着色を採用





車道：照明柱（両側）
歩道：照明柱

車道：照明柱（中分）
歩道：照明柱



⑯ 光の干渉に注意し総合的にデザイン

車道：照明中（中分）

歩道：高欄照明

全案共に対象道路を照らし安全を確保できる最低限の光源としているため、
光の干渉による影響は小さいと考えられるが、歩道橋部で照明位置が低く対象（歩道・自転車道）のみを
照らすことに長けた高欄照明を採用。



P6 橋脚張出し式橋脚



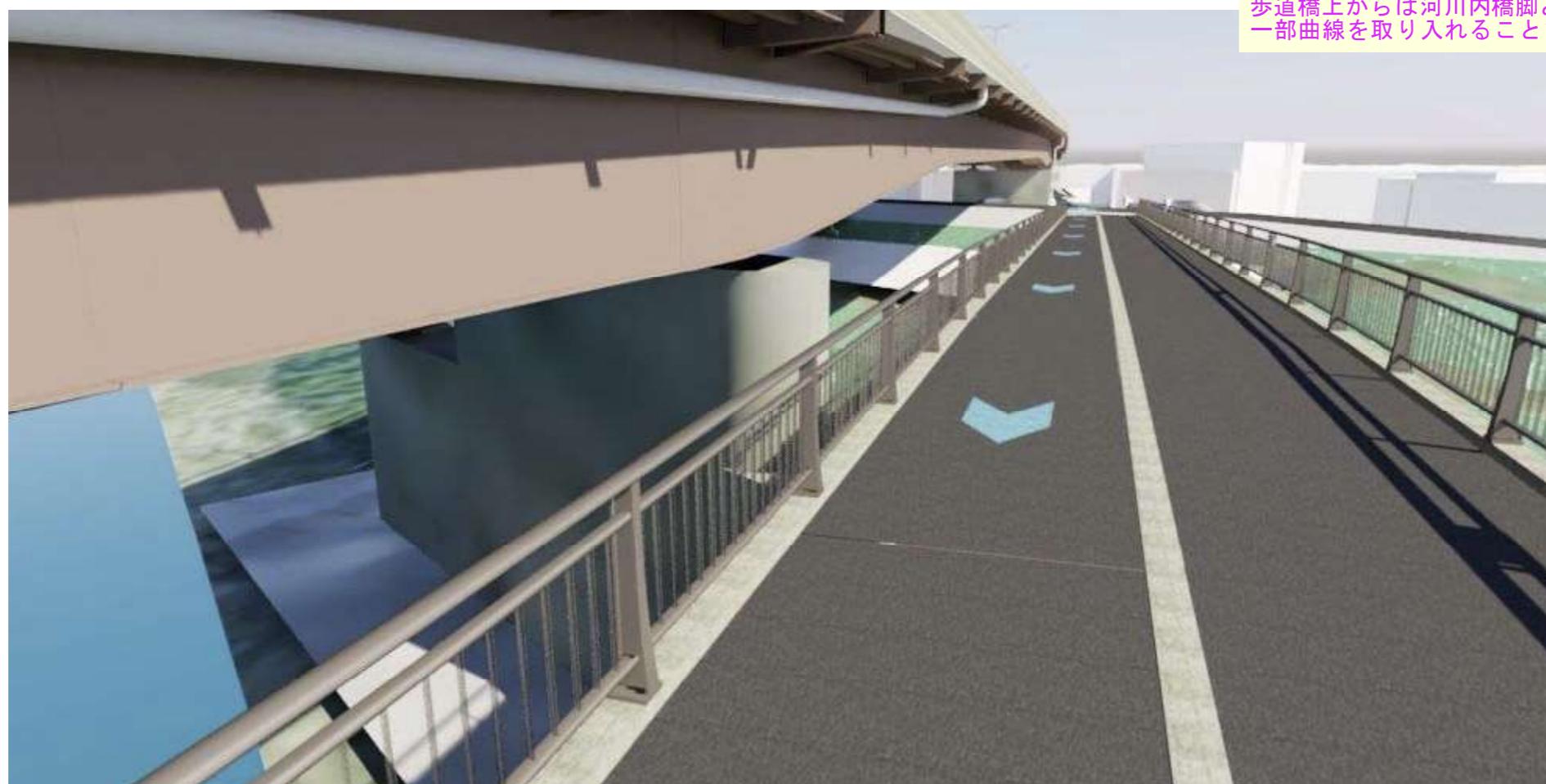
河川内橋脚(歩道橋上)

P6 橋脚壁式橋脚(河川内と統一)

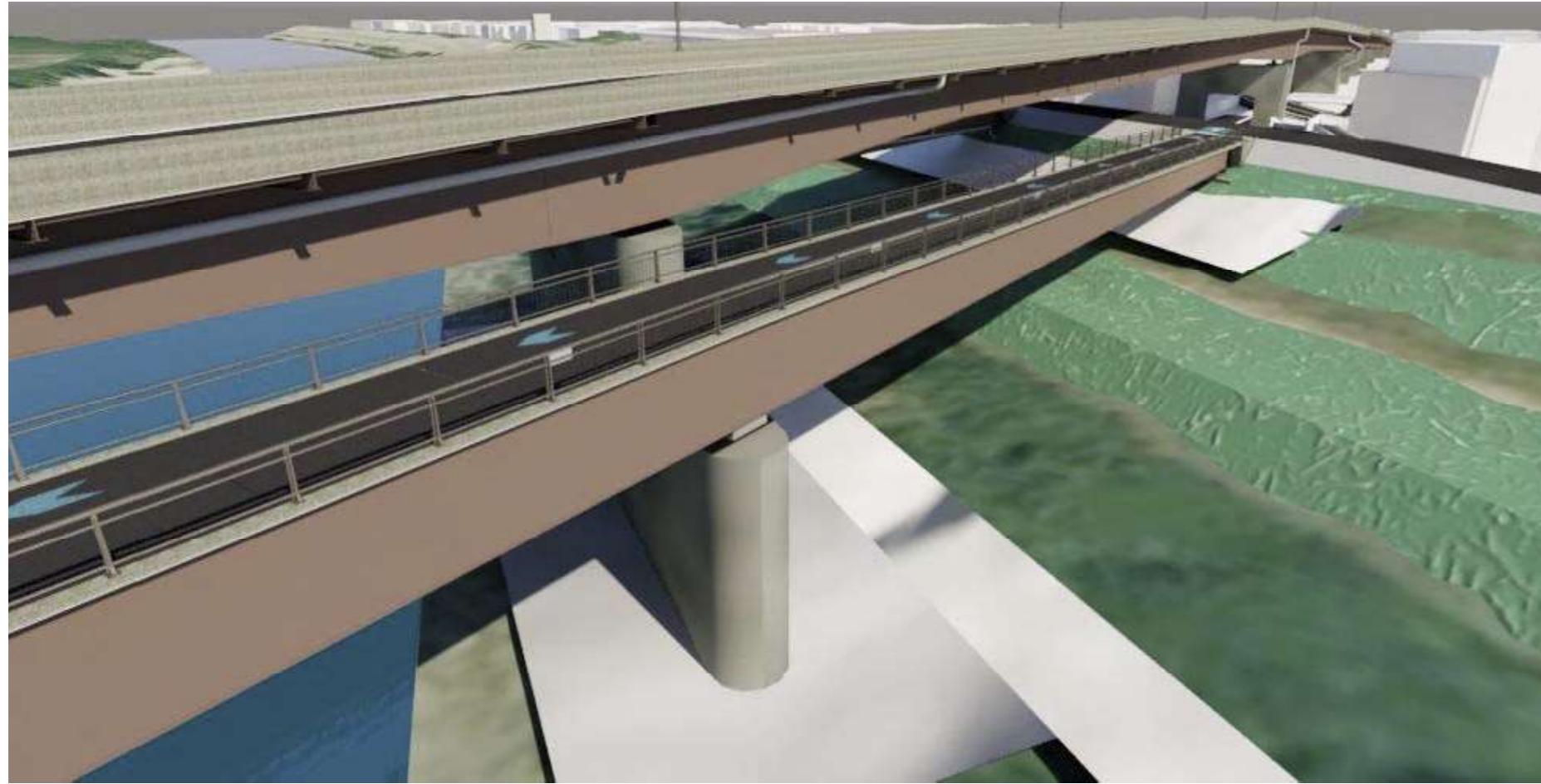


- ・高架部では1箇所だけラーメン橋脚
- ・P1～P6橋脚を張出し式で統一すれば近接道路からの見え方に違和感は無いと考えられる。
- ⇒P1～P6橋脚を河川内と同じ壁式橋脚に統一するメリットはないため張出し式橋脚を採用
- ⇒配慮として面取りなどで曲線を取り入れる。

歩道橋上からは河川内橋脚とラーメン式橋脚の一部が見えるが、一部曲線を取り入れることで違和感は無いと考えられる。

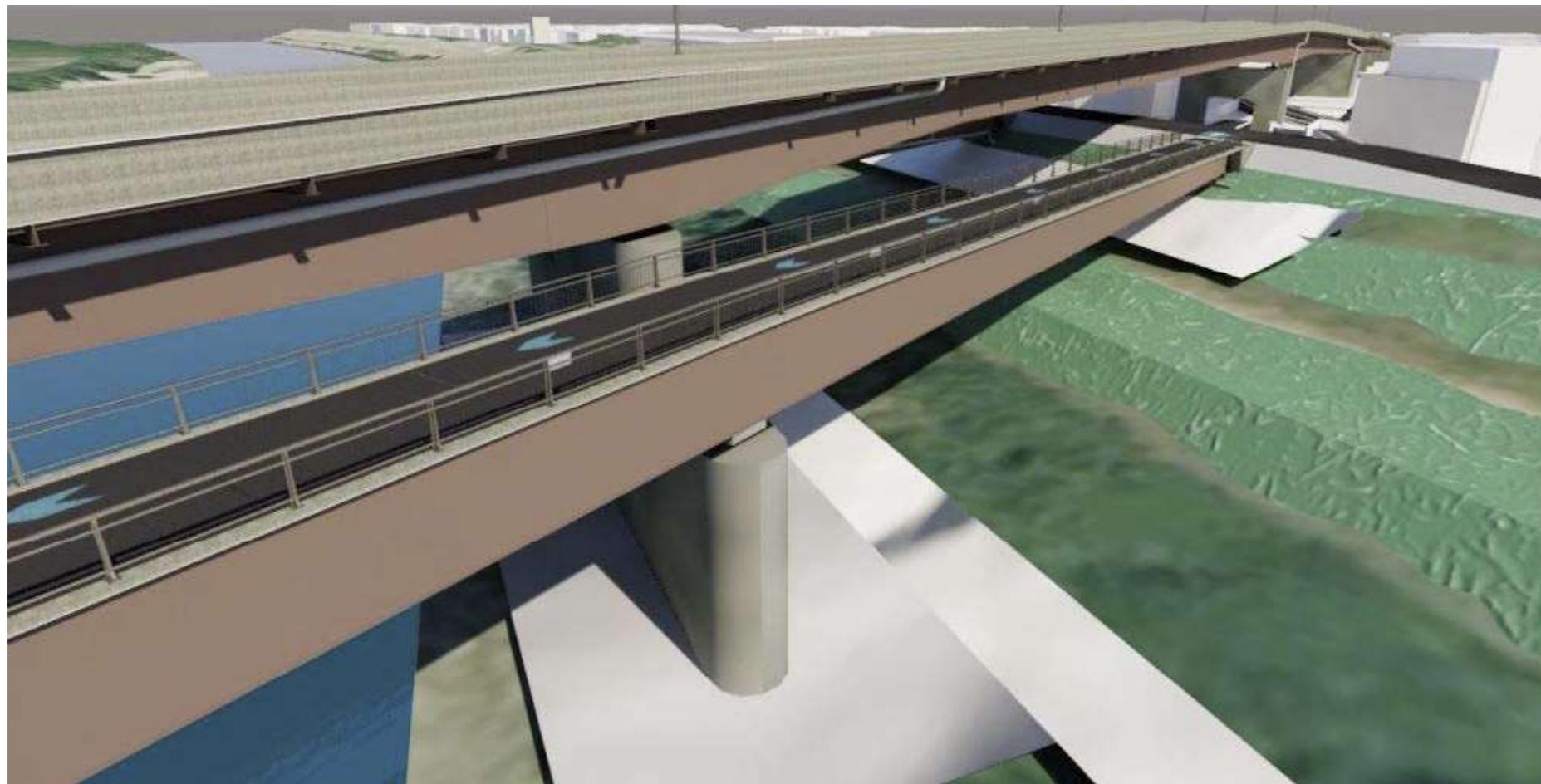


P6～P8 橋脚が見える視点 (P6 張出し式)



P6～P8橋脚を見渡せる視点は上空であることからも、
橋脚形式が統一できていないことによる
景観的な違和感はほとんど無いと考えられる。

P6～P8 橋脚が見える視点 (P6 壁式)



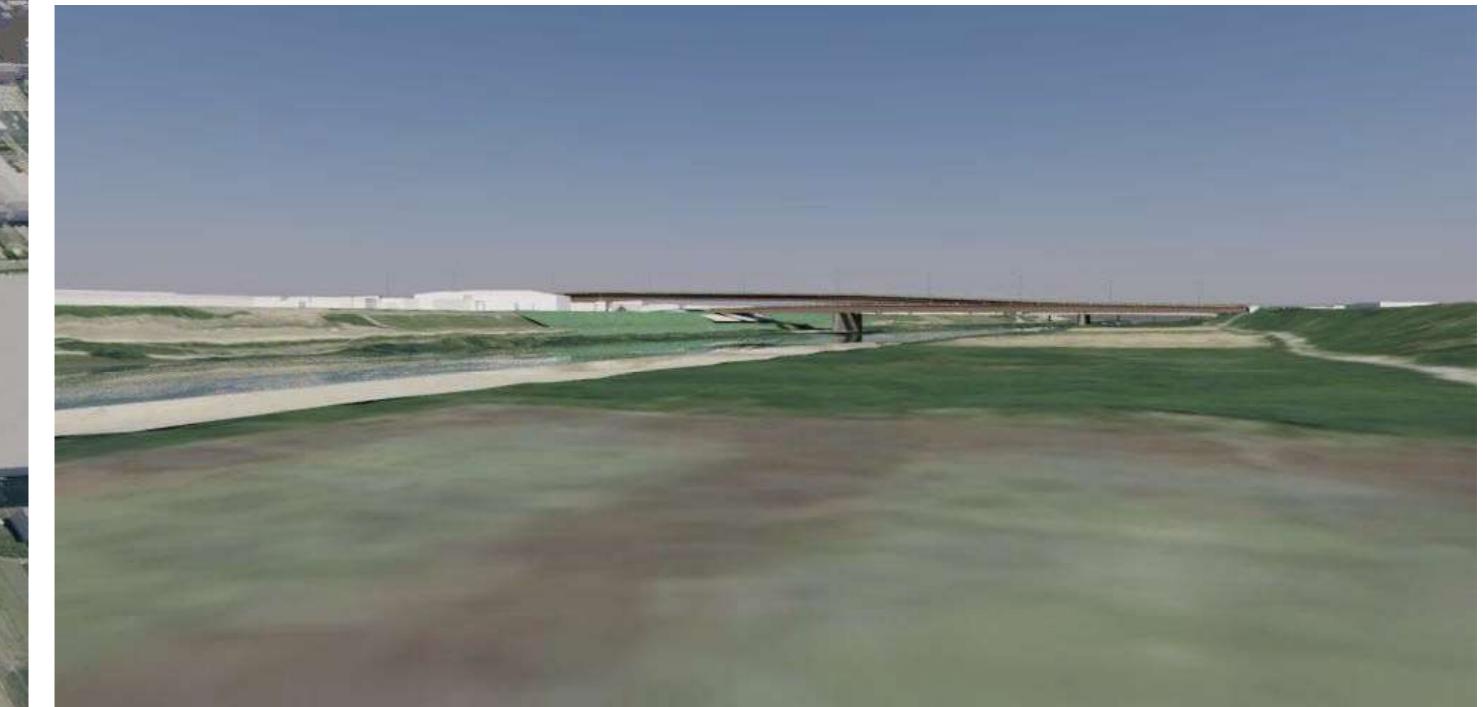
⑦ 主要な施設からの眺望

主要な施設からの眺望



・鋼床版箱桁を採用し支間長を長くすることで、下部工基数を減らし、すっきりとした見た目となるように配慮
・色彩は周辺の緑と調和する茶系統を採用

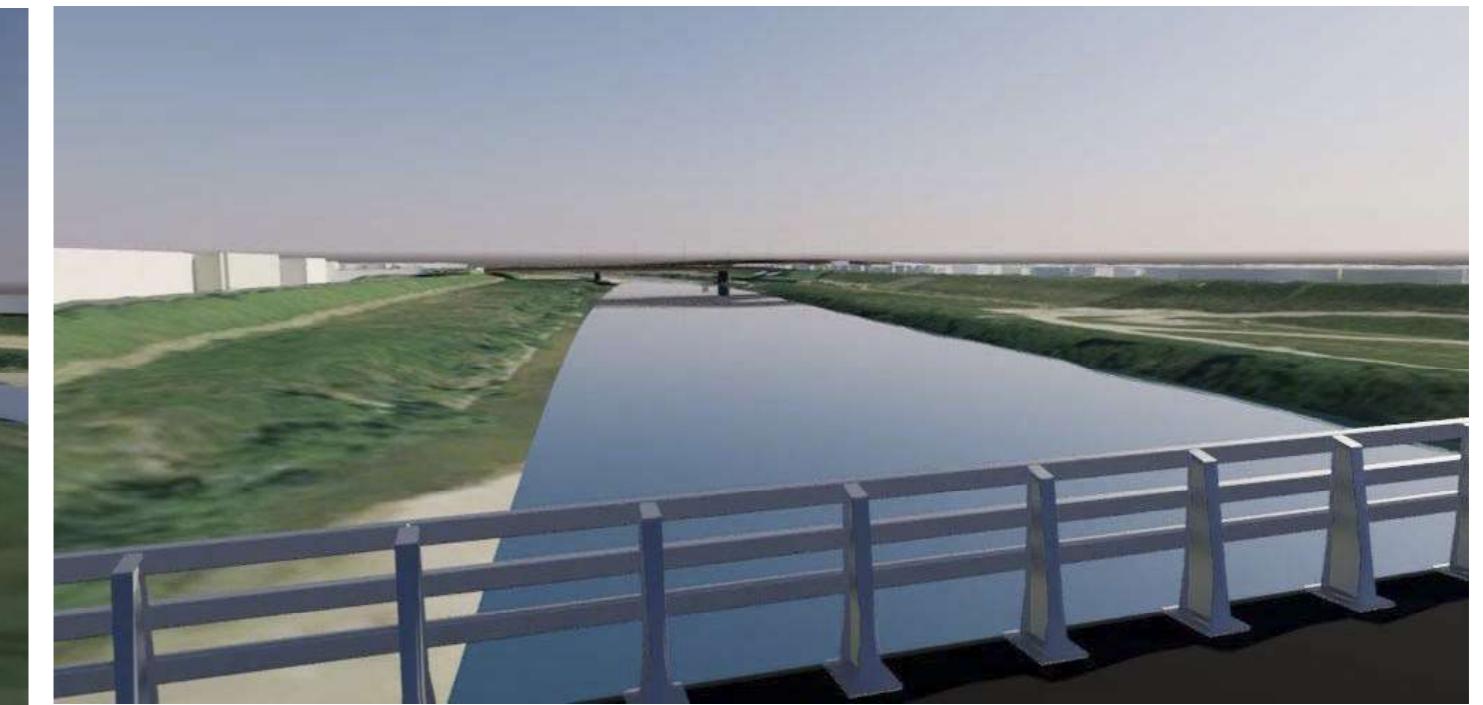
運動公園



コミュニティセンター



大正橋



③, ⑧, ⑩, ⑪ 歩道橋上からの風景美, 下から見る場合の居心地, 走行車線からの目線, 道路の内外からの視点

・防護柵の色やデザインに配慮
・排水が目立たないように配慮

車道・歩道・交差道路からの眺望

